

講演者紹介

猪口 孝

東京大学名誉教授。中央大学法学部教授を経て、2009年4月より新潟県立大学学長。専門は政治学、国際関係論、日本政治研究。主な著書は *Global Change: A Japanese Perspective*, (Palgrave, 2001), 『「国民」意識とグローバリズム 政治文化の国際分析』(NTT出版, 2004年), 『シリーズ国際関係論(5) 国際関係論の系譜』(東京大学出版会, 2007年) など。

長崎 暢子

東京大学名誉教授。龍谷大学人間科学・宗教・総合研究センター研究フェロー。専門はインド近代史、南アジア地域研究。主な著書は『インド独立 逆光の中のチャンドラ・ボース』(朝日新聞社, 1989年)、『ガンディー 反近代の実験』(岩波書店, 1996年)、『インド国境を越えるナショナリズム』(岩波書店, 2004年) など。

沼野 充義

東京大学文学部教授。専門はロシア・東欧文学。主な著書に『屋根の上のバイリンガル』(白水Uブックス, 1996年)、『徹夜の塊 亡命文学論』(作品社, 2002年) 『ユートピア文学論 徹夜の塊』(作品社, 2003年) など、訳書にスタニスワフ・レム『ソラリス』(国会刊行会, 2004年) などがある。